

平成17年度 第6回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

1 日 時： 平成18年2月2日(木) 15:00～16:40

2 場 所： 市役所庁舎 5階 特別会議室A

3 出席者：

委 員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員

市 側

<総務市民局>

・梅本経営企画室長、坪根経営企画室主幹 他

北九州市立大学

・丸山事務局次長、山本経営企画課長 他

4 議 題

(1) 国立大学の年度評価の方法等について(概要の再確認)

(2) 北九州大学の評価・点検方法等について(大学からの説明)

(3) 当評価委員会の評価方法について(審議)

5 議事 (要旨)

<p>石田委員長</p>	<p style="text-align: center;">(1) 国立大学の年度評価の方法等について (概要の再確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前は、国立大学の事例を通じて「何をどのように評価するか」といった基本的な考え方について大枠の議論を行いました。委員の皆様からはイメージが概ね掴めてきたという意見等をいただきました。また、当面は、「年度の評価をどうするかという観点に絞って議論する。」「中期目標終了時点での評価については、毎年度評価した結果を積み上げながらどのように行うか今後さらに検討を継続していく。」「さらに、「評価の質を継続的に高めていくという観点から、評価手法は改善しながら取り組んでいく必要がある。」など、評価委員が議論すべき方向性について全委員が共通認識を得ることができたと考えています。 ・ 一方、「大学から提出された調書」に基づき評価する場合、「その調書とは一体どんなものなのか、あるいは、どんなものであるべきか。」「年度計画の進捗度を評価するというが、そのためにはどのような資料が必要なのか。」「具体的にどのような評価が可能なのか。」「最終的にはどのように評価するのか、あるいは評価するべきか。」「さらに、「評価のスケジュールは概ねどんな感じになるのか。」「といった委員からの意見があったと認識しています。 ・ こうした、委員からの意見等を踏まえ、今回は、前回のおさらいをしながら、さらに具体的な議論を行いたいと思います。 ・ それでは、議題に従って進行します。 ・ まず、最初の議題は、「国立大学の年度評価の方法等」についてです。事務局から説明をお願いします。
<p>事務局 委員長</p>	<p style="text-align: center;">事務局より資料について説明</p> <p style="text-align: center;">国立大学の評価の概要については、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">各委員了解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、次の議題に移ります。 ・ 前回の議論の中でも、「年度の評価は大学から提出された調書に基づき評価するということは概ね理解できたが、その調書とは一体どんなものなのか、あるいはどんなものであるべきか。」「また、「年度計画の進捗度を評価するというが、そのためには工程表のような資料が必要なのではないか。」

	<p>といった委員からの意見や要望がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こうした、意見等を踏まえ、今回は大学が行う評価等について、次の2つの観点から北九州市立大学に説明を行ってもらうこととします。 ・ まず、北九州市立大学から提出された調書を基本にして評価を実施する観点から、当委員会は、大学が行う自己評価や自己点検等の方法を把握する必要がある。 ・ また、年度の進捗度を評価するという観点から、当委員会は、各年度に係る評価のために必要とする資料、例えば年度計画や工程表等をあらかじめ大学に指示する必要がある。という2つの観点です。では、大学の説明をお願いします。
北九州市立大学	北九州市立大学より資料について説明
委員長	委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の評価事務が過重な負担にならないことにも配慮する必要があるのではないかといった意見もありました。この観点から、大学が評価に関して作成する報告書等について説明を求めます。特に、実績報告書（法28条と規則6条で規定されている）、事業報告書（法34条）、自己評価・点検（法78条）は同一の資料をあわせて説明を求めます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の評価委員会が昨年末に立ち上がったばかりで、それぞれの実績報告書が具体的にどのようなものになるかなどについては、決定しておりません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学は、認証評価機関の評価を受けることになっていますが、北九大は複数ある認証評価機関のうちどこを選定するか決定したのか。あるいは、未定ならば、それはいつごろ決定するのですか。北九大の認証評価機関の選定状況等について説明を求めます。
北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学側がいくつかある認証評価機関のうちどこを選択するかは、まだ未定です。なお、認証評価機関の制度について補足説明しますと、大学は、学校教育法上、平成16年4月1日から7年以内に認証評価機関の評価を受けることになっており、特に教育研究については専門的見地から評価が行われるものと考えられています。したがって、独立行政法人化した大学は、地方独立行政法人法第79条の認証評価機関の評価を活用した評価を

	<p>受けるにあたっては、中期目標期間の後半で認証評価機関の評価を受ける必要がありますが、年度の評価に当たっては、市の評価委員会の評価が先行することになると考えています。</p>
委員長	<p>他に質問等はありませんか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の実績報告書以外に、自己評価や自己点検の資料として利用者アンケートなどは考えているのですか。
北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実績報告書以外の資料についても現在は未定です。今後、大学内で検討したいと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既に導入されている学生の授業評価は活用できるのではないのでしょうか。また、市立大学であることから地域貢献という視点は大事になるかと思えます。市民の声として大学図書館の利用者や市民講座参加者に対するアンケート調査の結果などがあれば、評価に当たって参考になると考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検の採点基準については、決定すれば説明してもらえるのですか。
北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の評価方法に準拠するばかりでなく、大学独自のユニークな評価方法は何かありますか。
北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な評価方法については今後、大学内で検討してまいります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段階別評価をするならば、達成状況が確認できるように、目標が数値化されたものが欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期計画期間の6年間分の工程表は困難かもしれないが、前年度に次年度の達成目標を示すことはできないのか。
北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の関係があるので大学だけで決定できない項目もあることを理解いただきたい。また、目標を定性的に示している項目が多いことは認識しており、大学としてもできる限り定量的に示す努力はしたいと思います。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に報告書が出てこなければ大学がどのような評価を行うのかよくわからないが、いずれにしても当委員会が評価するにあたって必要とする資料は、大学に対してあらかじめ示しておく必要があると思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の皆様、よろしいでしょうか。他に意見等がなければ、次の議題に移ります。大学関係者の皆様は退出してください。
<p>《大学関係者は退出》</p>	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の議題は、当委員会の評価方法についてです。大学からの報告と説明を踏まえて、当委員会の評価方法について委員による審議を行います。 ・ それでは、議題にそって審議いたします。まず、国立大学方式を参考にした評価方法について審議します。大学が提出する実績報告書等について、評価委員会が審議すべき検討事項のポイントについて、事務局に説明を求めます。
事務局	<p>事務局より資料について説明</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学は、各事業年度における業務の実績について当評価委員会の評価を受けようとするときは、当該事業年度に係る年度計画に定めた事項ごとにその実績を明らかにした報告書を当該事業年度の終了後3月以内に当評価委員会に提出しなければならない。（法28条と規則6条に規定されている）したがって、当委員会は、各年度に係る評価の実施要領及び事業実績の報告書の様式を具体的に定めていく必要がある。また、実績報告書以外にも評価に必要な資料等については、あらかじめ大学に示すということによろしいでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値化するとはどういうことですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目別の計画が順調に実施されているか、上回っているか、下回っているか、未実施かの4段階に分けて段階別評価を行うことにより、進行状況が客観的に評価できることから、この段階別評価を行うことを数値化すると説明しました。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェイト付けについてはどのように考えているか説明してください。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ウエイト付けを行うと、年度計画のうちどれが重要な項目かということが把握しやすく、大学に対して行うヒヤリングの項目も絞り込みやすくなる。また、中期目標全体の評価を行う場合には、年度の進行状況をチェックするのに役に立つなどのメリットがあると考えられます。一方、ウエイト付けを行うと、その妥当性を検証する必要が生じるなど評価方法が煩雑になり、時間と労力が必要になるというデメリットもあると考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ウエイトは、実施項目の重要度で付すのか、あるいは重要度とは関係なく進行計画において各年度の主な取り組みについて、その進捗度や達成度に基づいてウエイトを付すのかなど、いくつかの考え方があると思いますので、ウエイト付けをどのように行うかは議論しておく必要があると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学の事例では、大学が重要と考える項目について、大学が自ら必要に応じてウエイト付けを行います。ウエイト付けした項目は評価点が高くなります。また、項目別に点数をつけ総合点を出すことにより客観的に全体の評価を行うのか、計画を上回って実施している項目が全体項目に対してどの程度を占めているのかで全体評価を行うのかによってもウエイト付けの意義が異なってきますので議論が必要かと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 重要項目について大学自らがウエイトを付けるのであれば、それも参考になると思いますが、大学がウエイト付けについてどのように考えているかも聞きたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学と異なり比較や相対評価が困難なので、点数化することは一つの方法であるとも考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 数値化したりウエイトを付けたりするよりも、大学が今年度はこれやろうという目標を掲げ、これをここまでやったということの評価してあげればいいのではないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 過去の状況と現在の状況を比較するというような時系列で評価する方法であれば評価しやすいのではないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに順調かどうかを評価することは分かったが、大学全体として

委員 長	<p>はどここがどう変わったのか、それが具体的に分かる資料が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価を実施するにあたっては、事業実績報告書のほか評価に必要な資料等の提出を大学に指示し、文書での提出を求めるとともに、文書提出のほか、大学に対するヒヤリング等を実施し評価を行う必要があるのではないかと考えますがいかがですか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要があると考えております。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その際に、どのような方にヒヤリングに出席していただくか、あるいは分野別にヒヤリングを行うとか、どのようなスケジュールでヒヤリングを行うかは事務局で案を作成していただきたいと思います。また、大学に対するヒヤリングのほか所管局に対するヒヤリングの実施についても後ほど議論を深めていきたいと思います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">委員了解</div>	
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、次の議題に移ります。当委員会の評価方法と委員の役割分担については一括で審議を行います。では、当委員会が審議すべき検討事項のポイントについて事務局に説明を求めます。
事 務 局	<p>事務局より資料について説明</p>
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当委員会の評価方法については、国と同様、分野別の括りで評価すること、大学には項目別に数値化して段階別評価をしてもらうが、評価委員会は記述式で評価すること、教育研究等の評価は、国と同様、特色ある取り組み等について評価すること、委員の役割分担については、各委員が専門性を発揮し効率的・効果的に評価を行うために、社会性・公共性、財務・会計、教育・研究等の視点などそれぞれが重点的に見る分野をある程度念頭において取り組んでいくということでした。 ・ 委員の皆様、意見・質問等があれば、お願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の足を引っ張るような評価ではなく、プラス面を積極的に市民にアピールするような評価が望ましいのではないのでしょうか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の立場から見て、大学がどのような方向に向かって取り組んでいるか、どのように地域に貢献しているかという観点から捉えていけばいいの

委員 長	<p>ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ では、当委員会の評価方法については、分野別に記述式で行う。委員の役割分担については効果的、効率的な評価を行うという観点から、それぞれの専門性を発揮しやすいような方法で評価を行う工夫をするということによろしいでしょうか
委員 長	<p style="text-align: center;">委員了解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ では、次の議題に移ります。次の議題は、評価の仕組みとスケジュールについてです。事務局に説明を求めます。
事 務 局	<p style="text-align: center;">事務局より資料について説明</p>
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価のスケジュールは、9月議会に市長が報告することを前提にすると、5月末には実績報告書案及び決算見込みの資料を大学から提出してもらい、評価の素案作りやヒヤリングは7月から8月上旬ごろまでに実施する必要があるということでした。 ・ 委員の皆様、意見・質問等があれば、お願いします。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人化して初年度にあたるので所管局に対するヒヤリングを行うことも必要ではないでしょうか。所管局は大学の設置者に当たるので、評価に直接影響があるような事項についてヒヤリングを行うことは、制度の趣旨から考えると困難であるという考えもありますが、オブザーバーの立場で出席してもらい、あるいは評価の実施前に行うなどの方法も含めて、事務局と所管局で協議してください。目標に対する計画の進行状況や法人化したメリット・デメリットなどを聴く機会はずいぶん必要ではないかと思います。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席者やスケジュールについては、十分検討し具体的な案をお示しいたいと思います。 ・ また、スケジュールについては、大学が決算の承認を市から得るにあたり、市は当委員会の意見を聞かなければならないとなっており、当委員会が意見を提出する際には、市から決算の説明を受けることになることを考慮すれば、効率的・効果的に評価を行う観点から、決算に関する報告と評価に関する審議やヒヤリングなどを同日に行うようなスケジュールも検討したいと思います。 ・ スケジュールについては、9月議会への報告を前提とした説明を行いました。12月議会で報告するとした場合も含めて事務局で案を検討した

委員 長	<p>いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見や質問はありませんか。 ・ では、スケジュール等については今回の議論を踏まえて事務局のほうで整理をしていただきたいと思います。それでは、最後の審議事項に移ります。 ・ 国立大学評価委員会の主な評価の観点について特に補足説明が必要であれば簡単に説明してください。
事 務 局	<p style="text-align: center;">事務局より資料について簡単に補足説明</p>
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は評価の方法等について大学からの報告と説明を受け、議論を深めることができました。 ・ 最後に、今後のスケジュール等について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は、委員長からのご要望がありましたが、大学から「大学の自己評価等」について再度説明をしていただく機会を設けたいと思います。また、事務局が本日の議論を整理しまして「指針、実施要領・様式、スケジュール（案）」を作成しますので、その（案）について審議していただくということで如何でしょうか。 ・ 次回委員会は、年度末になりますが大学等とも調整し3月28日（火曜日）に開催したいと思いますが委員長、各委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 只今、事務局から次回の内容と日程について提案がありましたが、如何でしょうか。 <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、本日の審議を踏まえて、事務局が事前に作成した案について次回の委員会で審議するというので宜しいでしょうか。 <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、これで本日の会議を終了します。 <p style="text-align: center;">委員会終了</p>